

2026年度 事業計画



Ver 0.1

2026.6.18
一般社団法人iCD協会

0

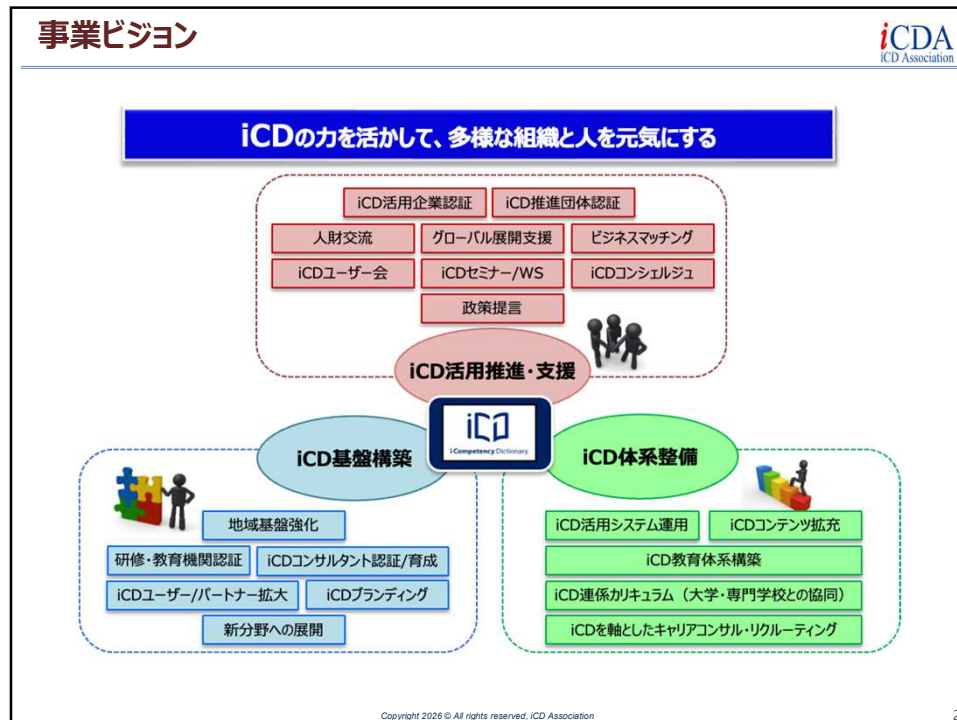
ミッション



業種・業態に関わらず、継続的な組織の成長を意図した
人的資本経営、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の実現に向けて、
iCDの構造的な優位性とコンセプトを最大限に活用して、
「組織における人材の形成と成長」の仕組み作りを軸に、
多様な企業・団体における経営や組織改革等のご支援に取り組み、
組織と人に元気になって頂く事を通して、日本経済の発展に貢献する。

- ・ 今後のありたい姿に向けた業務遂行力強化の取り組み
- ・ モチベーションの醸成を図る人材成長支援の仕組み作り
- ・ 組織の継続的な成長に向けた事業継承の取り組み
- ・ iCDのタイムリーで有意なバージョンアップと普及推進 …等

1



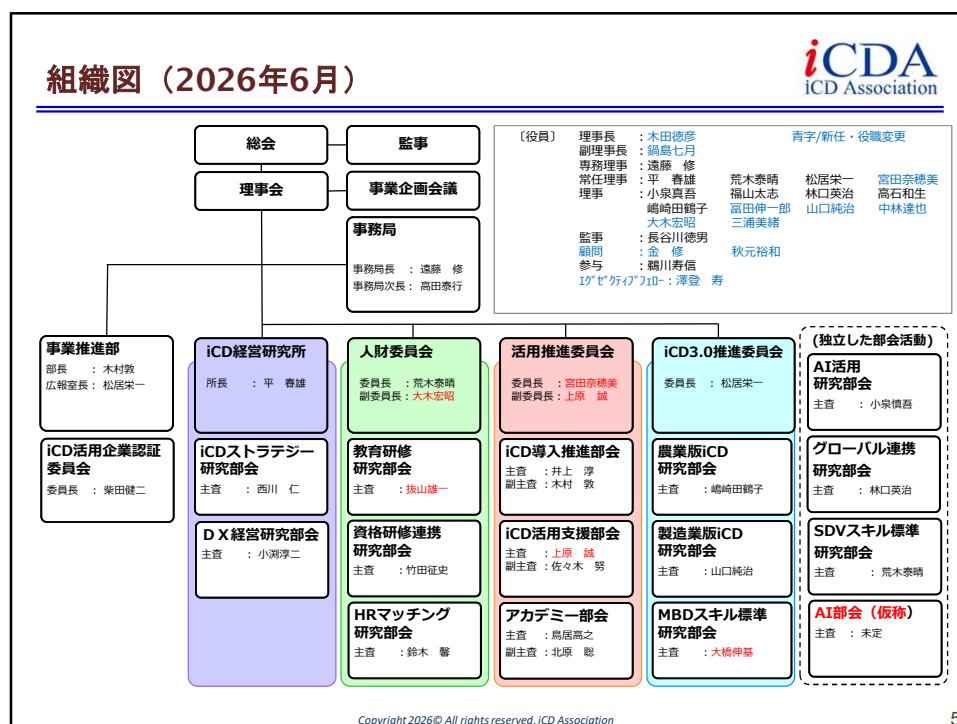
2



3



4



5

事業計画 重点施策



(1) 次世代タスク・スキル標準「新版iCD (iCD Neo)」の体系構築と活用基盤の整備

- ◆事業内容 IT分野や業種分野(共通能力・事務系職種を含む)の全体観を持つ、iCD体系の抜本的再編・構築を進める。データ構造や検索性を大きく向上させた「新版iCD (iCD Neo)」の研究を通じ、ディクショナリの充実と新しい活用システムの整備を推進する。あわせて、新版の考え方や構造、活用の仕方を体系化した「iCD版BOK(仮称)」の書籍企画を行い、実際の活用状況から新しい視点を見出すことで、ディクショナリの戦略的構築(UseからMakeへ)のサイクルを確立する。
- ◆想定利用者 iCDの戦略的活用を目指す皆様や、iCDの最新動向(体系・構造の再編)に関心のあるすべての皆様
自社の業務標準化や人材育成体系のアップデートに向けて、より活用しやすい構造に刷新されたiCDを導入・展開したい企業の皆様

(2) 客観的評価に基づく「アセスメントサービス」の構築と展開

- ◆事業内容 個人のタスク遂行力や組織の成熟度を客観的に可視化する「アセスメントサービス」の構築・運用を進める。具体的には、2025年度からの継続課題であるAIエージェント等の先端技術を活用した「業務遂行力(タスク)診断」の仕組みを高度化・システム化する。これにより、自己申告や主観に依存しない精度の高いスキル評価を実現し、企業における適材適所の配置やデータドリブンな人材育成計画の策定、個人の自律的なリスキングの指針となる実践的な評価プラットフォームを提供する。
- ◆想定利用者 客観的なスキル診断に基づき、人材戦略の策定や適材適所の配置を推進したい企業や経営層
自身の業務遂行力やスキルを客観的に可視化し、キャリアアップやリスキングの指針としたい個人

(3) 「業種特化型モデルの実践的体系化」と「人的資本エコシステム」の構築

- ◆事業内容 特定の製造業分野におけるタスク遂行能力の向上プロセス整備や、農業スキルの定義・運用実証を進めるとともに、自動車技術者のSDVスキル標準とiCD3.0の紐づけを通じた人材育成基盤の整備を推進する。さらに、これらの実践的なタスク体系を基盤として、資格との紐づけマップの公開による可視化や、AI・自然言語処理を用いたHRマッチングサービスの評価・検証試行へとつなげる。業種特化の現場適用から人材関連・教育の連携までを包括的に推進し、DX経営・人的資本経営における業務革新を支援する。
- ◆想定利用者 農業事業や製造業に従事している企業の皆様
OEMやTier1にて人材育成を実施している企業、担当者
DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)やコンサルタントの皆様
人的資源の調達・雇用等に従事している皆様、資格や研修の事業を生業としている皆様

Copyright 2026 © All rights reserved. iCD Association

6

6

事業計画 iCD経営研究所



(1) ディクショナリの戦略的構築と活用の仕組み作り:「Make/Use」【iCDストラテジー研究部会】

- ◆研究内容:「iCDを活用した新たなサービス・ソリューションの企画・開発」→データ駆動型経営への貢献
・業務遂行力(タスク)診断の仕組の構築:AIエージェント等の活用の研究(25年度に引続き問題開発)
・書籍の企画:「iCD版BOK(仮称):新版iCDの考え方・構造・活用の仕方等」(発行は27年度)
- ◆想定利用者:iCDの戦略的活用を目指す皆様、iCDとともに生成AIの活用に関心ある皆様

(2) DX経営・人的資本経営にむけた知識体系・技術基盤とサービスのあり方の研究【DX経営研究部会】

- ◆研究内容:DX経営・人的資本経営・タレントマネジメント分野における業務革新へのiCDの活用:「Use」
- ◆想定利用者:DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)やコンサルタントの皆様

(3) DX・AI時代に呼応したiCDの体系・構造と活用しやすい構造への展開の研究【iCDストラテジー研究部会】

- ◆研究内容:IT分野・業種分野(共通能力・事務系職種)の全体観を持たせたiCD体系の再編・構築
・ディクショナリの充実・再編(新版iCD:iCD Neo):データ構造・検索性の向上・活用システムの研究
・iCDの活用状況から新しい活用の視点を見出しMakeへつなぐ:「UseからMakeへ」
- ◆想定利用者:iCDを活用されるすべての皆様(特に、iCDの最新動向に関心ある皆様)

Copyright 2026 © All rights reserved. iCD Association

7

7

事業計画 人財委員会



(1) 研修事業者の情報共有の場の円滑運営と事業水準の向上【教育研修研究部会】

◆事業内容 IT/DX/AI関連の特定研修事業者が参集し、ビジネス課題やその対処法等を共有、ならびに事業水準の向上を図る。教育研修研究部会に所属する研修事業者の責任幹部および担当者により、各社のオープンコースの研修情報定義の共通化や、iCD・他フレームワークを基軸とした、タスク-研修紐づけ情報発信の整備等により研修利用者の利便性向上を図る。

◆参加メンバー 研修事業者の動向把握や、各社の研修の比較/選択を検討されている皆様

(2) マップと資格制度の紐づけによる可視化【資格研修連携研究部会】

◆事業内容 iCDと資格の紐づけマップを公開する各資格認定組織(資格試験実施組織)とリレーションを高め、iCDと資格の紐づけマップのプレゼンスを向上させる。

◆参加メンバー 資格や研修の事業を生業(なりわい)としている皆様

(3) 調達コミュニティを通じたマッチング課題抽出とAI/スキル標準(iCD)による解決【HRマッチング研究部会】

◆事業内容 コミュニティ(調達・企画・マッチングサービス事業者)を継続、人材不足解決に向けたあらゆる取り組み、サービスを共有・提案する。

◇ネットワークング: 当初からのマッチング実証に加え、マッチングサービス事業者との交流から、AIや自然言語処理を用いたサービスが、マッチングにおける多くの課題解決と効率化の手段となりうると判断
マッチングサービスの評価方法を検討、認証制度につなげる。

◇活動スケジュール: 定例会議(隔週)、ネットワークング(1回/四半期)、マッチングサービスの認証制度試行

◆参加メンバー 人的資源の調達・雇用等に従事している皆様

Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

8

8

事業計画 活用推進委員会



(1) 新たにiCDを導入・活用しようとする企業・団体の支援【iCD導入推進部会】

◆事業内容 iCDの周知・紹介・導入活動を目的として、以下のようなイベント等について企画し実施する。

- ① iCD関連セミナー(有料・無料)の企画・実施・フォロー
- ② iCDカレッジ【人材育成&業務改善・実践コース】の実施
- ③ 賛助会員との連携セミナーの企画・実施 等

◆想定利用者 iCDの概要を把握し、導入にむけたノウハウを習得したい皆様

(2) iCDを活用している企業間での人財に関する研究・意見交換を支援【iCD活用支援部会】

◆事業内容 採用や育成、評価など人財に関する研究、意見交換を行い、iCD活用企業がCDの活用レベルを深めるための支援を行う。

- ① iCDカンファレンスの企画・実施
- ② iCDユーザー会の企画・実施
- ③ iCD協会の会員交流の企画 等

◆想定利用者 iCD協会の会員、ならびに 人財に関する課題をお持ちの皆様

(3) iCDを活用している企業との産学連携を進めたい学校法人の支援【アカデミー部会】

◆事業内容 iCDに興味をもっている専門学校を中心とした学校法人に対し、以下のような活動を行う。

- ① iCD産学連携フォーラムの企画・実施
- ② iCDアカデミー認証の運用 等

◆想定利用者 iCDを活用している企業との連携を目指している学校法人の皆様

Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

9

9

事業計画 iCD3.0 推進委員会



(1) 農業版iCDのタスク・スキルの策定【農業版iCD研究部会】

◆事業内容 ① 農業分野全般を考慮した体系化「営農類系を活用したコード体系を適用」
大中小分類の項目を中心に体系化を進める。
作物別現場別の人材育成への効果的な活用を目的として、評価項目は標準化せず柔軟に対応する方針。

② スkill項目の定義と運用実証「タスクでは表現できない農業スキルの定義」
評価や人材育成に活用するには、スキル整理は不可欠。
マニュアル整備を優先とし、段階的な標準化を視野に入れて柔軟に対応する方針。

③ 普及活動 タイアップ説明会
・案件ベースで利用企業を広げる活動
・営農分野におけるiCD会員モデルの定義と運用
・「営農タスク標準(Task-Based Agriculture)」としてセミナー・勉強会等の実施

◆利用者想定 農業事業従事企業の皆様

(2) 製造業版iCDのタスク・スキルの策定【製造業版iCD研究部会】

◆事業内容 ① 特定の製造業分野を考慮した体系化プロセスの整備
② 生産性向上へ向けたタスク遂行能力の向上プロセスの整備
③ 普及活動 タイアップ説明会
・案件ベースで利用企業を広げる活動

◆利用者想定 製造業従事企業の皆様

【補記】 順次、他業種の研究部会を構成予定

Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

10

事業計画 独立した部会活動



(1) 「ビジネス×AI」を推進できる人材育成の仕組みづくりに関する研究活動【AI活用研究部会】

◆事業内容 「iCD協会(AIタスクディクショナリ)」と「人工知能学会(AIマップ)」が共同で作成した『AIマップβ 拡張版チュートリアル(仮称)』を活用したトレーニング(ワークショップ)の設計、検証を行い、AI中核人材の育成を促進する。

◆参加メンバー 【募集中】AI開発を主導できる人材育成に関心があり、上記の取り組みに参加可能な皆様

(2) iCDのグローバルな展開を目指したコンテンツと環境の整備【グローバル連携研究部会】

◆事業内容 デファクトグローバル標準「SFIA」および海外組織との継続した連携を促進し発信する。
具体的には、SFIAの動きに応じて iCD および Wings の向上を図る。

◆想定利用者 グローバルな視点でのスキル標準の動向、および iCDの立ち位置に関心ある皆様

(3) 自動車技術会 SDVスキル標準 成果物検証／iCDとの紐付け／キャリア研究【SDVスキル標準部会】

◆事業内容 自動車技術会が策定したSDVスキル標準の成果物を検証し、iCD3.0との紐付けを行う。あわせて、SDVスキル標準に基づくキャリアの研究も進め、今後の人材育成の基盤を整備する。将来的には、実践的なスキル習得を重視した育成方針を推進に役立つサービスを目指す。
さらには教育機関・企業に使う、技術変化に柔軟に対応できることを目指す。

◆想定利用者 自動車技術会 SDVスキル標準SWG2参加メンバー
OEM、teiaにて人材育成を実施している企業、担当者

Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

11

事業計画 iCDカンファレンス



2026夏

開催日 2026年07月23日（木） アフター-MTG（ユーザー会として） 08月06日（木）

アジェンダ

1. 理事長挨拶
 2. 基調講演 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 澤登 寿 様
 3. 事例紹介① 株式会社リコー 宮内 克爾 様 リコーITソリューションズ株式会社 坂口 健吾 様
 4. 事例紹介② 株式会社アイ・エス・ビー 加邊 徹 様
 5. iCD 関連の最新動向ー新版iCD（iCD Neo）紹介等
 6. 招待セッション 株式会社NTTデータグループ 荒川 和教 様
 7. iCD協会からのお知らせ
- 6/1（水）サイトオープン予定（アフターミーティング申込み含む）

2026冬

開催日 2026年11月18日（水）または19日（木）

アフター-MTG 12月09日（水）または10日（木）

登壇依頼予定者：TBD

アジェンダ：TBD

Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

12

12

お問い合わせ先



一般社団法人iCD協会

iCD Association

URL : <https://www.icda.or.jp/>
E-mail : icda-info@icda.or.jp
TEL : 03-4530-6226



Copyright 2026 © All rights reserved, iCD Association

13

13